

## 課題&amp;備忘／総会指導委員会

## ●組織化（率）と会計

- ・ 会員数は何人？
- ・ 回生ごとの／連絡先が把握できている会員数  
39/50 超 40/8 41/1 42/8 43/7 44/4 45/10 46/9 47/3 48/3 49/1 50/1  
**明らかに 40 回生以降は組織化（同期つながり）がない。もしくは顕在化できていない。**
- ・ 第 54 回返信葉書出欠記載を得た 150 のうち物故 or 連絡不要が 19。
- ・ 回期幹事を通じて名簿の確認を。51～69 回までのテコ入れ。61 以降の回期幹事。  
LINE つながりなどの状況確認。
- ・ 総会・懇親会では、ここ数年若年会員には会費を安くしているが、ほとんど効果はない。  
会費優遇はインセンティブにならない。もっと根本的なこと。
- ・ 若手はオンライン会合に抵抗がない。オンライン例会を開催しては？  
6 年委員会の「ビジネス交流」をもっと前面に。ビジネスからみで縁を求める向きもある  
のではないか。

## ●会計

- ・ 会費納入状況は。594 人は終身会費済み。年会費は 180 人程度  
会員数 3,000 とすれば会費納めて欲しい方は約 2,400 人。7.5%の年会費納付率。
- ・ **第 52 回（41 回生）アンケートにて、会報「あがた」の電子メールによる配信について賛成するが 64%。何らかの形で印刷物も欲しい 8%、反対である 28%（回答数 564）**

## ●総会・懇親会／実行委員会に関する課題

- ・ 申込葉書のこと。私書箱は難しく実行委員の自宅宛てとなる、結果電話番号が千人単位で周知されてしまい、電話番号を変えた代も。毎日のように回収は相当の負担。  
**葉書を廃止し、WEB 申込みに一本化できないか。**第 49 回（古いが回答：葉書 402、WEB252）  
（会報や振込用紙と一緒に送っているので、送ること自体の経費削減にはならないが）
- ・ **会費の支払いをできるだけ事前振込として欲しい。**  
第 52 回（41 回生）アンケートではあるが郵便振込：銀行振込：当日持参＝38%:40%:22%  
（回答数 262）
- ・ 先輩からのたすき、「先輩に言われればそういうものか」と継いできたが、40 回生が社会人になった（大学卒）のは平成 4 年。バブル弾けたばかりで、まだ浮き立つ感じがあったはずで就職環境も悪くはなかった時代だと思うが、同年からは坂道を転げ落ちるように厳しい時代に。  
**実行委員に、300 人集める会に意義を見出せなくなってきている。**

- ・ **備品の管理。いつまでも実行委員の受け渡しを継続するのはいかがなものか。**  
校旗、学ラン、横断幕などの大物はどこかに預けたい。東京同窓会としてのかさ張る備品も合わせて有料で倉庫などに。その他小物備品は衣装ケース1個程度（にして）を実行委員保管。
- ・ **僚友校との関係：案内、礼状は本部で扱って頂けないか。送ることは実行委員会です。**

#### ●その他

- ・ **同窓会と学校との結びつき。若手は「親睦」にはあまり興味はないのではないか。** 同期意識も弱い。学生支援につながることが大事。同好会単位、英語科の括り（寄付が124万円集まる）、仕事つながり、母校の活躍共有といった幾つかの観点からまめに情報を発信する。例会を開催するなど。
- ・ **第53回「ネットワーク再発見」、第54回「結」を継続して具現化すべき。**
- ・ **女性役員を。**

#### ●第55回について

今後検討のメルクマール（以下の〇月は一定の機関決定である合同幹事会の時期）

- ・ 年内11月にはおよその開催イメージを設ける  
アルカディア参集従来方式（オンサイト）とそれができないオンライン両面建てを検討せざるを得ない？ 2022年1月もその延長
- ・ 同3月は（会報による案内確定でもあり）方式を確定する
- ・ 同5月は微調整  
つまり、2022年1月には大方針を決定したい（第53回、第54回はそれぞれ2020年、2021年1月下旬にオンサイト断念）
- ・ コロナ見通し。ワクチン接種が進み「集団免疫」の印象をもてるのは11月くらいになると思う。それでも30～35%は未接種であり、ワクチンパスポートという概念も日本は確固たる指針を打ち出せないであろう。懇親会は少なくとも年内はタブー視されるのではないか。
- ・ これから年内オンサイト開催を念頭に詰めるのではなく、オンサイトはあってもサブとしてオンラインを活用した、第54回の延長も意識した新しい開催のありかたを検討したい。